

『あんしん連携ファイル』説明書

趣 旨

1. 医療サービスや介護保険サービスが必要な本人や家族が、医療・介護の情報や終末期に対する思いを整理し、人生の最終段階における医療やケアについて、医療・介護関係者とともに考えることに役立つものである。
2. 医療・介護関係者が、医療サービスや介護保険サービスが必要な本人や家族に、自分らしい人生の最期を迎えるための医療やケアを提供することに役立つものである。
3. 医療や介護が必要でなくても、市民一人ひとりが、将来の意思決定能力の低下に備えて、人生の最期の時間をどのように過ごしたいか、元気なうちから意識して考えていくことに役立つものである。

ファイルを活用する対象者

敦賀市在住のすべての方

※特に、医療サービスや介護保険サービスを利用されている方は積極的に活用する。

活用方法

1. 本人または家族が、医療・介護に関する情報を記録する。
2. 本人または家族が、人生の最終段階における医療やケアについて考える機会とする。
3. 医療・介護関係者とともに、人生会議（ACP）を実践する機会とする。

ファイルの内容

1. 基本情報
2. 連絡先一覧
3. 人生会議（ACP）に関するシート
 - (ア) 大切にしていることを考えてみよう
 - (イ) 自分の思いを信頼できる人と話し合おう
 - (ウ) 医療・介護関係者に思いを伝えよう
 - (エ) かかりつけ医に質問したいことを考えてみよう
 - (オ) 信頼できる人はだれか考えてみよう

ファイルの保管場所

自宅内の一定の場所（1箇所）に常置するようにする。本人・家族で必ず保管場所を共有し、関係職種にも伝えておく。

ファイルの記入・更新について

変更があった場合、速やかに更新する。

情報	利用・更新方法
1. 基本情報 2. 連絡先一覧	・ 基本的には、本人または家族が記入し、適宜更新する。 ・ 本人または家族の記入が難しい場合は、介護支援専門員が聞き取りを行い、記入する。
3. 人生会議（ACP）に関するシート	・ 終末期の意向を記録するため、本人が記入する。 ・ 家族や関係職種（機関）は、本人の意向を確認する。

ファイル使用上の留意点

1. 定期的に内容を見直し、変更があった際は随時更新する。
2. 関係職種（機関）は、本人の病状の変化により人生会議（ACP）が必要だと感じた場合は、情報を共有し、必要に応じてファイルを活用する。
3. 個人情報が含まれるため、ファイルの取り扱いには最大限の注意を払う。

その他

1. 入院・入所時や容体急変時には、本人または家族が保険証やお薬手帳と共に「あんしん連携ファイル」を持参し、必要に応じて医療・介護関係者に提示する。
2. 入院・入所時には担当介護支援専門員が「医療と介護の連携シート」を活用し、情報提供を行う。

平成28年 4月 1日 作成

令和 3年 2月 1日 改正

令和 6年 7月 1日 改正

敦賀市在宅医療在宅介護連携推進協議会
(事務局：敦賀市福祉保健部長寿健康課)

『あんしん連携ファイル』説明書

趣 旨

- (1) 医療サービスや介護保険サービスが必要な本人や家族が、医療・介護の情報や終末期に対する思いを整理し、人生の最終段階における医療やケアについて、医療・介護関係者とともに考えることに役立てるものである。
- (2) 医療・介護関係者が、医療サービスや介護保険サービスが必要な本人や家族に、自分らしい人生の最期を迎えるための医療やケアを提供することに役立てるものである。
- (3) 医療や介護が必要でなくても、市民一人ひとりが、将来の意思決定能力の低下に備えて、人生の最期の時間をどのように過ごしたいか、元気なうちから意識して考えていくことに役立てるものである。

ファイルを活用する対象者

敦賀市在住のすべての方

※特に、医療サービスや介護保険サービスを利用されている方は積極的に活用する

活用方法

必要な情報をファイルにまとめて保管し、

- (1) 本人または家族が、日々の健康管理や医療・介護に関する情報を記録する。
- (2) 本人または家族が、人生の最終段階における医療やケアについて考える機会となる。
- (3) 医療・介護関係者とともに、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を実践する機会となる。

ファイルに保管する物

- (1) 連絡先一覧
- (2) 基本情報
- (3) 自己管理シート
- (4) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に関するシート
 - ・大切にしていることを考えてみよう
 - ・信頼できる人はだれか考えてみよう
 - ・かかりつけ医に質問したいことを考えてみよう
 - ・自分の思いを信頼できる人と話し合おう
 - ・医療・介護関係者に思いを伝えよう

※その他、検査結果や予約表など、医療・介護に関するもので本人が保管したいもの

ファイルの保管場所

自宅内の一定の場所（1箇所）に常置するようにする。本人・家族で必ず保管場所を共有し、関係職種にも伝えておく。

ファイルの記入・更新について

変更があった場合、速やかに変更する。

情報	利用・更新方法
(1) 連絡先一覧	<ul style="list-style-type: none">・基本的には、本人または家族が記入し、適宜修正する。(差し替えも可)・本人または家族の記入が難しい場合は、介護支援専門員が聞き取りを行い、記入する。
(2) 基本情報	<ul style="list-style-type: none">・基本的には、本人または家族が記入し、適宜修正する。(差し替えも可)・本人または家族の記入が難しい場合は、介護支援専門員が聞き取りを行い、記入する。
(3) 自己管理シート	<ul style="list-style-type: none">・日々の健康状態の記録のため、本人が記入する。・家族や関係職種が本人の状態を確認する。
(4) ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に関するシート	<ul style="list-style-type: none">・終末期の意向を記録するため、本人が記入する。・家族や関係職種(機関)は、本人の意向を確認する。

ファイル使用上の留意点

- (1) 定期的に見直し、変更があった際は随時追加・修正する。
- (2) 関係職種(機関)は、本人の病状の変化により ACP(アドバンス・ケア・プランニング)が必要だと感じた場合は、情報を共有し、必要に応じてファイルを活用する。
- (3) 個人情報が含まれるため、ファイルの取り扱いには最大限の注意を払う。

その他

入院時には、必要に応じ担当介護支援専門員から「医療と介護の連携シート」を活用し、情報提供を行う。

平成28年 4月 1日 作成
令和 3年 2月 1日 改正
敦賀市在宅医療在宅介護連携推進協議会
(事務局：敦賀市福祉保健部長寿健康課)